

保健福祉企画総務課長 様

こども企画課長 田中 康広

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成23年1月28日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	発達障害者支援センター（仮称）整備事業	
委員からの意見	具体化の結果・状況	
<ul style="list-style-type: none">・ トイレの数が少ないのではないか。・ 多目的トイレの鏡、ブザーは？・ 多目的トイレにベビーチェア及びオストメイトを設置しないのか。・ トイレ入り口に触知板は設置するのか。・ シャワーが必要なのではないか。・ 更衣室の設置は？・ 多目的トイレのドアはどのようなドアか。人影が見えるのは好ましくないが。・ スロープの幅、勾配は？また、手すりの設置は？・ 南側のスロープ、階段を上った所にある注意喚起点字ブロックから施設内に入るまで及び自動ドア前に点字ブロックを敷設して欲しい。・ 火災などの緊急時における聴覚障害者用の	<ul style="list-style-type: none">・ 施設改修なのでスペースに限りがあり、増設は不可能です。・ 鏡は流しのところに車椅子使用時にも見えるように設置します。ブザーは床から30cmの所に設置し、ひもで引ける仕様になっています。・ ベビーチェアは設置します。オストメイトの設置については検討します。・ スペース的に設置は不可能です。・ オストメイトと併せて検討します。・ 設置しない。相談室などで対応する。・ 軽めの木製ドアで中は透けない仕様です。・ 幅は1.2メートル、勾配は1/12です。手すりは2段（床から65cmと85cm）に設置します。・ 点字ブロックを敷設します。・ 誘導灯を3カ所設置するとともに緊急時	

<p>表示設備を設置して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設入り口前にある植栽スペースを縮小できないか。 ・ 岡山市勤労者福祉センターの車椅子用入り口にあるインターホン前に点字ブロックを敷設して欲しい。 ・ スロープの材質をタイルから滑りにくい材質に変更して欲しい。 ・ 南側入り口に泥及び水分を吸い取るマットを置いた方がよいのではないか。 ・ センター内の手すりの設置は？ ・ センター内の床の仕上げは？ ・ 多目的室の段差は？ ・ 館内の案内表示は大きな文字でお願いしたい。 ・ 暖房、換気設備は各部屋にあるのか。 ・ 画像が写るインターホンを設置して欲しい。 	<p>には人的に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車椅子の軌跡を考慮して縮小します。 ・ 発達障害者支援センター（仮称）の玄関は南であり、予約時に詳細を確認の上、来所時は職員が個別に対応します。 ・ 滑りにくい材質に変更します。 ・ 点字ブロックの敷設を考慮するとマットの設置は難しいと思われるので、雨天時には人的対応を考えます。 ・ 多目的室の入り口付近にI型の手すりを設置します。 ・ 多目的室はフローリングでそれ以外は長尺シートです。 ・ 段差はありません。 ・ わかりやすい大きな文字にします。 ・ 各部屋にあります。 ・ 勤労者福祉センターの北側玄関にあるインターホンは画像で確認できます。通用口のインターホンは画像確認はできませんが、北側玄関から通用口への誘導は人的に対応します。
--	---